

国内臨床経験から考える
プリザーフロ®
マイクロシャント
の位置づけ

日時

2024年9月20日(金)
12:40~13:40

会場

第1会場
アクリエひめじ 2F 大ホール

座長

相原 一 先生
(東京大学)



プリザーフロ® マイクロシャント(以下プリザーフロ)が発売され1年を迎えます。

線維柱帯切除術は高い眼圧下降効果が得られる一方で重篤な副作用へのマネジメントが必要です。また流出路再建術はMIGSの登場によりこれまでよりも早いタイミングでの手術が可能となりましたが、線維柱帯切除術に比べて眼圧下降効果はマイルドで術後も抗緑内障点眼薬の併用が必要な場合があります。このような中、低侵襲な濾過手術が可能なプリザーフロは緑内障手術の新たな選択肢として認知されつつあります。本日は臨床経験が豊富な内藤知子先生、本庄恵先生より、プリザーフロの特徴と臨床成績を踏まえての留意点、ならびに治療上の位置づけや今後の見通しについてクリニック、基幹病院の双方の視点からお話しいただく予定です。プリザーフロの立ち位置についてみなさんと一緒に考える機会にしたいと思いますので、積極的なご参加をお待ちしております。

演者 1

プリザーフロ®
マイクロシャント
の位置づけ
~クリニックの視点~



内藤 知子 先生(グレース眼科クリニック)

演者 2

プリザーフロ®
マイクロシャント
の位置づけ
~基幹病院の視点~



本庄 恵 先生(東京大学)

国内臨床経験から考える プリザーフロ® マイクロシャント の位置づけ

日時

2024年9月20日(金)
12:40~13:40

会場

第1会場
アクリエひめじ 2F 大ホール

座長

相原 一 先生(東京大学)

1989年 東京大学 医学部 医学科 卒業
1990年 東京大学 医学部 眼科学教室 文部教官 助手
1998年 東京大学大学院 生化学細胞情報部門 卒業 医学博士
東京大学 医学部 眼科学教室 文部教官 助手
2000年 カリフォルニア大学サンディエゴ校 緑内障センター 臨床指導医
2001年 カリフォルニア大学サンディエゴ校 緑内障センター 主任研究員

2003年 東京大学 医学部 眼科学教室 医学部専任講師
2012年 東京大学 医学部 眼科学教室 准教授
四谷しらと眼科 副院長
2014年 東京医科歯科大学 医学部 眼科学教室 特任教授 兼任
2015年 東京大学 医学部 眼科学教室 教授
現在に至る



演者1

プリザーフロ® マイクロシャントの位置づけ ~クリニックの視点~

内藤 知子 先生(グレース眼科クリニック)

1997年 岡山大学 医学部 卒業
1998年 広島市民病院 勤務
2004年 岡山大学大学院 医学研究科 修了
岡山大学病院 眼科 助手
2015年 岡山大学病院 眼科 病院講師

2016年 岡山大学病院 眼科 講師
2019年 グレース眼科クリニック 院長
2020年 医療法人社団尽誠会 理事長
現在に至る



演者2

プリザーフロ® マイクロシャントの位置づけ ~基幹病院の視点~

本庄 恵 先生(東京大学)

1995年 京都大学 医学部 卒業
京都大学 眼科 入局
2001年 京都大学大学院 医学研究科 視覚病態学 修了
京都大学大学院 医学研究科 視覚病態学 助手(助教)
2004年 北野病院 眼科 副部長

2006年 京都大学大学院 医学研究科 視覚病態学 助教
2007年 東京都健康長寿医療センター(2009年より医長)
2015年 東京大学 医学部 眼科学教室 講師
2019年 東京大学 医学部 眼科学教室 准教授
現在に至る

